



ペットと暮らす

シニア世代の皆さまへ



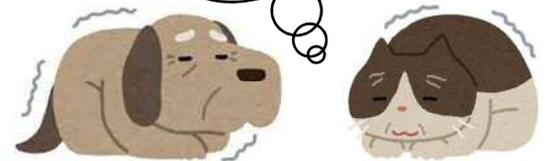
ペットの寿命も年々伸び、犬や猫などは15年以上一緒に暮らしていくこともできるようになりました。

最後まで責任をもって飼うために、飼い主の“万が一”の時に備えて、日頃からペットのために何ができるのか考えておきましょう。

突然の事故や病気で入院したら、ペットはどうなるんだろう・・・



飼い主も僕達も高齢・・・ちゃんと介護してくれるかな？



足腰が弱くなって、ペットの散歩や毎日の世話が大変だなあ・・・



ペットは大切な家族の一員です！
万が一の時、誰かが何とかしてくれる「だろう」ではいけません。



大切な家族であるペットを託せる人、すぐに駆け付けてくれる人を見つけておきましょう！

<終生飼養と飼い主責任>

飼い主には、ペットがその命を終えるまで適正に飼養する「終生飼養」の責任があります。どうしても飼えなくなった場合でも、飼い主が先に亡くなった場合でも、ペットが安心して暮らせる環境を用意してあげることが、飼い主の努めです。

ペットについての相談先

尼崎市動物愛護センター ☎ 06-6434-2233

